

令和 7 年度

第 3 回 日田市地域公共交通確保維持協議会

日 時 令和 7 年 12 月 25 日（木）10 時 30 分～

場 所 日田市役所 7 階中会議室

次 第

1. 開会	
2. 会長あいさつ	
3. 報告	
【1】日田市地域公共交通利便増進実施計画策定に係る調査結果	1
ひたはしり号利用者への調査結果	別冊
福祉バス利用者への調査結果	別冊
4. 審議	
【1】日田市地域公共交通利便増進実施計画について	2
日田市地域公共交通利便増進実施計画（素案）	別冊
5. その他	
・今後の協議会の開催予定	3
【参考】令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価	4～6
【参考】令和6年度日田市地域公共交通計画進捗状況	7～8
6. 閉会	

<報告>

【1】日田市地域公共交通利便増進実施計画策定に係る調査結果

「日田市地域公共交通利便増進実施計画」の策定に向けて実施した調査の結果について報告するもの。

◆ 調査の結果

①ひたはしり号利用者への調査

別冊「ひたはしり号利用者への調査結果」参照

②福祉バス利用者への調査

別冊「福祉バス利用者への調査結果」参照

※「福祉バス利用状況調査」「自治会長アンケート調査」「民生委員・児童委員アンケート調査」「交通事業者聞き取り調査」の結果については、第2回協議会で報告済み

<審議>

【1】日田市地域公共交通利便増進実施計画について

第2回協議会で審議いただいた内容を基に計画の素案を作成したため、委員の皆さまの意見を伺うもの。加えて、計画の策定スケジュールを下記のとおり見直すもの。

◆ 計画の素案

別冊「日田市地域公共交通利便増進実施計画（素案）」参照

◆ 今後の策定スケジュールの見直し

時期	内容	備考
令和7年12月下旬	第3回協議会	計画素案を提案し委員に意見を聴取
令和8年2月	第4回協議会 (書面)	第3回協議会で聴取した意見を踏まえた計画案を提案し再度意見を聴取 (パブコメ案決定)
令和8年2月～3月	パブリックコメント	
令和8年4月～5月	令和8年度 第1回協議会	第4回協議会で聴取した意見及びパブコメの意見を踏まえ計画の最終案を決定する (意見が計画に大きな影響を及ぼさない場合、書面開催も検討)
令和8年5月～	再編準備	新たな交通体系の許認可手続き、地域への周知
令和8年7月頃	計画の認定申請	
令和8年9月～	計画期間開始	

※ ご要望があれば対面での開催を検討します。

《参考》第2回協議会で提案したスケジュール

時期	内容	備考
令和7年12月下旬	第3回協議会	計画素案を提案し委員に意見を聴取
令和8年1月下旬	第4回協議会	第3回協議会で聴取した意見を踏まえた計画案を提案し再度意見を聴取
令和8年2月～3月	パブリックコメント	
令和8年3月下旬	第5回協議会	第4回協議会で聴取した意見及びパブコメの意見を踏まえ計画の最終案を決定する
令和8年4月～	再編準備	新たな交通体系の許認可手続き、地域への周知
令和8年8月頃	計画の認定申請	
令和8年10月～	計画期間開始	

＜その他＞

今後の協議会の開催予定

令和7年度内に下記の項目について協議が必要ですが、委員の皆さまの負担軽減を図るため、書面開催により協議を行う予定です。

	協議項目	内容
①	日田市地域公共交通利便増進実施計画の策定	審議【1】で説明のとおり。 (年度内協議予定回数：1回)
②	地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価	国の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」を活用している事業について事業評価を行うもの。 対象：フィーダー補助金（ひたはしり号、五馬線） 利便増進計画策定事業 1月末までに運輸局へ提出が必要であり、例年書面開催で協議を行っている。(年度内協議予定回数：1回)
③	日田市地域公共交通計画の進捗管理	令和7年度の交通計画に基づく取組について進捗状況を報告するもの。(年度内協議予定回数：2回)

書面開催では、事務局が示した案に対し委員の皆さまから意見をいただき、その意見を踏まえて事務局で案の修正を行います。運輸局への申請・報告にあたっての軽微な修正など、修正の内容については事務局へ一任ください。

③については、書面による協議を2回実施する予定ですので、1回目いただいた意見に対する市の考え方を示し、2回目の協議にて改めて意見を募ることとします。

◆開催予定

実施時期	協議項目
1月下旬	・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価
2月中旬	・日田市地域公共交通利便増進実施計画の策定（パブコメ案決定） ・日田市地域公共交通計画の進捗管理（1回目）
3月中旬	・日田市地域公共交通計画の進捗管理（2回目）

※ 別件で対面開催が必要な協議事項が発生した場合は、上記協議項目も併せて対面で協議を行うことがあります。（上記項目もご要望があれば対面での開催を検討します）

※ 軽微な協議事項が発生した場合は、上記協議項目に加えて書面開催にて協議を行うことがあります。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和7年1月31日

協議会名：日田市地域公共交通確保維持協議会

評価対象事業名：令和6年度地域内ライダーシステム確保維持費用国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
日田バス(株) ひたはしり号Aコース	日田～玉川町～日隈～石井～日田の循環コースを運行	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設のオープンに伴い、利便性の向上を図るため、「中ノ島町」バス停の移設を行った。 	<p>計画どおり事業は適切に実施された（運休は天災等によるもの）</p> <p>【目標：計画運行回数】 A:3,660回 B:3,660回 C:3,294回</p>	<p>目標を達成できた。</p> <p>【目標輸送人員】 計:74,670人 A:19,739人 B:24,408人 C:30,523人</p>	<p>令和5年3月に策定した「日田市地域公共交通計画」の進捗管理を適切に行うとともに、地域からの要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握し、利用者の増及び利便性のさらなる向上を図る。</p>
日田バス(株) ひたはしり号Bコース	日田～田島町～若宮～隈町旅館街～高瀬～日田の循環コースを運行	<ul style="list-style-type: none"> ・ひたはしり号に対する利用者や地域からの要望については、日田バスと情報を共有し把握に努めた。 ・9/22に「バスの日イベント」を日田バスと共催し、「ひたはしり号1日無料乗車体験」等のイベントを行い、公共交通の利用促進を図った。 	<p>【実績輸送人員】 計:84,189人(+9,519人) A:26,241人 B:25,641人 C:32,307人</p> <p>【要因】 令和5年2月に住民ニーズに沿った運行ルート再編を行った結果、利用者増に繋がった。</p>	<p>【実績輸送人員】 計:84,189人(+9,519人) A:26,241人 B:25,641人 C:32,307人</p>	<p>令和5年3月に策定した「日田市地域公共交通計画」の進捗管理を適切に行うとともに、地域からの要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握し、利用者の増及び利便性のさらなる向上を図る。</p>
日田バス(株) ひたはしり号Cコース	日田～豆田町～朝日町～清岸寺町～城町～日田の循環コースを運行	<ul style="list-style-type: none"> ・9/22に「バスの日イベント」を日田バスと共催し、「ひたはしり号1日無料乗車体験」等のイベントを行い、公共交通の利用促進を図った。 	<p>【実績：実績運行回数】 A:3,629回(△31回) B:3,628回(△32回) C:3,266回(△28回)</p>	<p>【要因】 令和5年2月に住民ニーズに沿った運行ルート再編を行った結果、利用者増に繋がった。</p>	<p>令和5年3月に策定した「日田市地域公共交通計画」の進捗管理を適切に行うとともに、地域からの要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握し、利用者の増及び利便性のさらなる向上を図る。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和7年1月31日

協議会名：日田市地域公共交通確保維持協議会

評価対象事業名：令和6年度地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日田バス(株) 五馬線	日田～小迫～五馬入口のコースを運行	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に送迎・輸送に関する地域座談会(勉強会)を五馬地区住民と市で開催して以降、住民間で当該地域における送迎・輸送を含む地域課題に関する協議が行われている。 ・9/22に「バスの日イベント」を日田バスと共催し、「ひたはしり号1日無料乗車体験」等のイベントを行い、公共交通の利用促進を図った。 	<p>計画どおり事業は適切に実施された(運休は天災等によるもの)</p> <p>【目標：計画運行回数】 712回</p> <p>【実績：実績運行回数】 697.5回(△14.5回)</p>	<p>目標を達成できなかった。</p> <p>【目標輸送人員】 4,471人</p> <p>【実績輸送人員】 3,135人(△1,336人)</p> <p>【要因】 ・沿線地域の人口が減少していることに加え、高齢化が進みバス停まで歩いて行くことができない住民が増え、利用者が減少している。</p>	<p>令和5年3月に策定した「日田市地域公共交通計画」の進捗管理を適切に行うとともに、地域からの要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握し、利用者の増及び利便性のさらなる向上を図る。</p> <p>あわせて、地域の実情に応じた適正な交通モードのあり方を住民等と一緒に検討していく。</p>

参考【R6年度】

別添1-2

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年 1月 31日

協議会名：	日田市地域公共交通確保維持協議会
評価対象事業名：	令和6年度地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>日田市は大分県の西部、福岡県と熊本県に隣接した北部九州のほぼ中央に位置し、面積は666.03km²、人口は60,207人(令和6年12月31日現在)である。少子高齢化が進んでおり、今後も運転免許返納者などの移動制約者は増えていくことが推察される。このような状況から、公共交通の必要性は益々高まっていくことが予想されるため、地域住民に寄り添った交通網の形成を目指し、市や交通事業者等の関係者が住民との意見交換を行うとともに、住民が「公共交通を利用し、支えていく」という意識を持つような利用促進活動を行っている。</p> <p>具体的には、地域間幹線系統と接続するライダーシステムについて、地域住民、交通事業者と一緒に地域座談会を開催し、住民の意見を聞きながら地域自らが主体となって、地域に応じた適正な移動手段の確保や公共交通利用環境の改善などを実施し、それを市や交通事業者等がサポートする体制の構築を進めている。また、例年実施している無料乗車体験イベントを継続して実施する中で、積極的な利用を呼びかけ、利用者減少の緩和を目指している。</p>

参考【R6年度】

資料 日田市地域公共交通計画進捗状況等

基本方針Ⅰ		持続可能な公共交通ネットワークの維持確保						
施策	取組	R6年度の取組						
1)公共交通網の再編	①既存地域公共交通の確保・維持	<ul style="list-style-type: none"> ●生活交通を維持するため、国・県補助や市による赤字補填などを補助金として交付 ●路線バス「神杉野線」の廃線に伴う代替手段（うきは市デマンドタクシー）導入調整 <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会への説明・意見交換 ・代替手段の調整（うきは市・うきは市タクシー協会） ●路線バス「中津日田線」増便協議（中津市から申出） ●路線バスのダイヤ改正協議（日田バス） ●ひたはしり号Aコースのルート変更 						
	②公共交通の再編により新たに生じる公共交通空白地域に対する代替手段の検討	<ul style="list-style-type: none"> ●月出町住民と乗合デマンドタクシー移行について制度説明（11/20） ●前津江柚木地区住民との意見交換会（うきは市デマンドタクシー導入） 						
	③効率的・効果的な交通網の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●乗合デマンドタクシー大山線の実証実験（R5.8/1～継続中） ●BRT沿線エリアにおけるMaasの取組（1日フリーチケット販売） 						
	④公共交通の運転手の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●市主催の企業説明会へ参加（9/22）日田バス ●バス運転士体験乗車会（日田バス 3/8予定） 						
2)利便性の向上	⑤わかりやすい時刻表やマップの作成と情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ●ひたはしり号Aコースの一部ルート変更及びダイヤ改正に伴い、R7.2.1～時刻表作成 ●わかりやすい時刻表やマップについては、利便増進実施計画作成後のネットワーク変更時に作成予定 ●他自治体資料収集中 						
	⑥キャッシュレス決済導入の検討	<ul style="list-style-type: none"> ●JR久大本線（日田駅、天ヶ瀬駅）について、電子マネー利用可能改札機の設置を要望 ●JR九州大分支社長に対し、市長から日田駅のキャッシュレス化を口頭で要望 						
	⑦全ての人にやさしい車両への更新	<ul style="list-style-type: none"> ●BRTは、好調な利用状況により低床車両を1台追加投入 7台すべてが低床車両であり、うち4台は電気バス 現在水素バスの実証実験も行われており、環境にも配慮されている 						
	⑧市営上・中津江デマンドバスの運賃見直しの検討	<ul style="list-style-type: none"> ●階段式の利用料金を見直す方向で検討中 						
評価指標								
評価指標	単位	R4（計画当初）	R5実績	R6			R9年度目標値	
				目標値	実績	期間		
鉄道及びBRT（日市内駅）の乗車数	人/日以上	715 R3（4-3）	763	747	917	R5（4-3）	800（R8年度）	
路線バスの年間利用者数	人/年以上	59,876 R4（10-9）	59,006	61,925	60,376	R6（10-9）	65,000	
ひたはしり号の年間利用者数	人/年以上	71,783 R4（10-9）	79,443	74,643	84,189	R6（10-9）	79,000	
タクシーの年間利用者数								
乗合デマンド	人/年以上	6,773 R4（10-9）	6,151	7,045	5,431	R6（10-9）	7,500	
タクシー	人/年以上	380,294 R3（4-3）	437,508	396,141	447,269	R5（4-3）	420,000（R8年度）	
全バス車両に占める低床バスの割合	%	55.6 R4	60.6	65.4	70.6	R6（10-9）	80.0	
公共交通への公的資金投入額								
総額	千円/年度未満	154,670 R3（4-3）	167,388	155,000	161,454	R5（4-3）	155,000（R8年度）	
利用者	円/人未満	1,065 R3（4-3）	1,102	1,027	990	R5（4-3）	970（R8年度）	
市民	円/人未満	2,477 R3（4-3）	2,722	2,606	2,667	R5（4-3）	2,800（R8年度）	
ひたはしり号の収支率	%	30.6 R3（4-3）	28.9	31.0	25.2	R5（4-3）	31（R8年度）	
分析・評価								
<p>市民が生活交通として利用する民間路線バス運行事業者に対し、国庫補助の活用及び市の補助により路線維持に努めているものの、利用者は減少傾向にある。今年度の利用者数は昨年に比べ増加しているが、人件費の増や燃料費の高騰などにより公的資金投入額も増加傾向にある。一方で、ひたはしり号については、令和5年2月からのダイヤが浸透し、買い物や通院手段としての利便性向上が図られ、利用者数の増加につながっている。</p>								
今後の取組・方向性								
<p>現在の交通モードの実態を把握し、より効率的で効果的な公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通利便増進実施計画を作成する必要がある。令和9年度の目標値に向け、引き続き各種取組を継続するとともに、喫緊の課題である公共交通を担う運転手確保に向け、交通事業者と連携し取り組む必要がある。</p>								

参考【R6年度】

基本方針2 まちづくりの視点からみた公共交通にかかる周辺施策との連携							
施策	取組	R6年度の取組					
1) これからのまちづくりを支える公共交通ネットワークの強化	⑨ 多分野との政策連携	● 長寿福祉課、日田市社会福祉協議会との連携（高齢者等移動支援体制整備事業）					
	⑩ 高齢者のお出かけ機会の創出	● 市民健康福祉まつりの案内ホームページにおいて、ひたはしり号の利用案内を掲載 ● 高齢者等移動支援体制整備事業により住民支えあいの仕組みづくりの伴走支援 ● 日田市タクシー協会との意見交換会開催（7/9・12/17）					
	⑪ 観光まちづくりに合致した周遊ネットワークの形成	● 路線バス杖立線が毎日サッポロビール九州日田工場（進撃の巨人関連施設）へ乗り入れを開始したことで、進撃の巨人関連施設の周遊を目的とした観光客の移動手段となっている。					
評価指標							
評価指標	単位	R4（計画当初）	R5実績	R6			R9年度目標値
				目標値	実績	期間	
観光入込客数	人以上	1,912,341 R3（1-12）	2,398,199	2,345,000	2,752,559	R5（1-12）	2,890,000（R8年）
特定観光施設の最寄りバス停での乗降客数	人/日以上	5 R4	10	6	12	R6	8
高齢者（65歳以上）の公共交通利用割合	%以上	28.6 R4	次回調査はR9年度				30.0
分析・評価							
<p>観光入込客数は、渡航制限の解除等の影響で訪日外国人旅行者は大きく伸びている。また、『進撃の巨人』関連施設をはじめ、まつりやイベント等に訪れる観光客も増加している。杖立線の利用促進に向けたサッポロビール九州日田工場乗り入れにより、進撃の巨人関連施設の最寄りバス停の乗客数も増加傾向にある。</p> <p>また、他分野との政策連携としては、今年度は特に、高齢者等移動支援体制整備事業において、長寿福祉課、日田市社会福祉協議会と連携し、住民支えあいの仕組みづくりを進め、2月には市内で初めて山田町自治会による移動支援をスタートすることができた。</p>							
今後の取組・方向性							
<p>観光分野については、訪日外国人客をはじめとする観光需要の急速な回復に伴い、今後更なる観光需要を着実に取り込むためには、観光客の移動手段の確保について、引き続き関係者との連携した取組が必要となっている。</p> <p>福祉分野については、高齢者のお出かけ機会の創出に向け、公共交通の利便性向上に努めるとともに、公共交通の利用が困難な高齢者については、介護予防事業を活用した地域の支えあいによる移動支援など、それぞれの地域に合った仕組みづくりを関係者と共に進める必要がある。</p>							

基本方針3 地域全体で公共交通を創り上げ・守り・育てる							
施策	取組	R6年度の取組					
1) 市民協働体制の構築	⑫ 交通事業者・地域と連携した効果的な地域公共交通の運行・運営	● イオンタウン日田ショッピングセンターのエリア内に、ひたはしり号のバス停新設に向け調整を行ってきたが、開業以降駐車場内の混雑が緩和されないため、設置を断念し、施設近くの歩道に設置。 ● ひたはしり号沿線の医療機関等に時刻表を配架					
	⑬ 住民・交通事業者・市の協働体制づくり	● 地域の支えあいによる移動支援の仕組みづくりについて、伴走支援する「高齢者等移動支援体制整備事業」を実施。 ● 月出町自治会役員会（11/20）「乗合デマンドタクシー乗り方教室」 ● 大山町住民自治組織すみいい会 見守り部会との意見交換会（2/5）					
	⑭ 公共交通の利用促進に向けた啓発活動	● バスの日イベント開催（9/22・日田駅南広場等） ● ひたはしり号車内ラッピング ・10月16日～31日 ハロウィン（基幹相談支援センター） ・2月17日～3月末日 ひなまつり（基幹相談支援センター） ● バス無料デー（12/15・1/15・1/22） ● 市の集落支援員が属する地域活性化グループがBRT体験ツアーを実施（9人参加）					
評価指標							
評価指標	単位	R4（計画当初）	R5実績	R6			R9年度目標値
				目標値	実績	期間	
民間施設を活用した待合スペースの確保	箇所/年以上新設	-	0	1	0	R6	累計5
乗り方教室参加者の公共交通利用増加割合	%以上	-	0	10	0	R6	10
分析・評価							
<p>乗合デマンドタクシー導入を希望する地域を対象に、乗り方教室を実施。また、BRTの利用促進として、市の集落支援員が属する団体によりBRT体験ツアーが開催された。</p> <p>高齢者移動支援体制整備事業の中で、高齢者等の移動の現状や課題について、地域住民との意見交換を行うとともに、公共交通の利用が困難な高齢者等の移動を支援するための仕組みづくりに地域と共に取り組んだ。</p>							
今後の取組・方向性							
<p>今後も利用促進に向けた積極的な情報発信に努めるとともに、積極的に高齢者を対象とした乗り方教室を開催する必要がある。</p> <p>また、地域公共交通利便増進実施計画の作成にあたり、交通事業者や民間事業者も含め地域全体でその地域に合った公共交通について検討していく必要がある。</p>							

